



岡田アトリエ OPEN!



2018.4.1 OPEN アトリエ移設記念展 — はじまりはここから —
岡田三郎助と女性画家たち

有馬三斗枝 / 甲斐仁代 / 森田元子 / 深沢紅子 / 三岸節子 / 岡田節子 / いわさきちひろ
【会場】佐賀県立美術館(2号展示室)
【料金】一般・大学生400円(300円) 『温故維新 美・技のSAGA』展とのセット券 一般・大学生600円(500円)
高校生以下及び障害者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料 ※()内は割引料金

【向かって左列】いわさきちひろ(赤い帽子の男子の)ちひろ美術館蔵 ●甲斐仁代(小菊)女子美術大学美術館蔵 ●有馬三斗枝(緑台の少女)京都市美術館蔵
●三岸節子(室内)一宮市三岸節子記念美術館蔵 ●MIGISHI ●岡田三郎助(風景)佐賀県立美術館蔵
【向かって右列】●深沢紅子(花)ラサ工業株式会社蔵 ●森田元子(黄馬) ●岡田三郎助(少女(習作)) ●岡田節子(三美女之図)女子美術大学美術館蔵

1868 2018
肥前さが
幕末維新博覧会
Hizen Saga Bakumatsu-Meiji
Restoration Expo

佐賀県
http://www.pref.saga.lg.jp/



佐賀が誇る超絶技巧の美

池田学《誕生》2013-2016 紙にペン、インク、透明水彩 300×400cm 佐賀県立美術館蔵
©IKEDA Manabu, Courtesy Mizuma Art Gallery, Tokyo / Singapore
デジタルアーカイブ・凸版印刷株式会社

維新



肥前さが幕末維新博特別展

染付上絵菊梅樹文貼付透彫鳥籠
1877(明治10)年 公益財団法人鍋島興成会蔵

美・技のSAGA
Art and Technique

2018.
3.17(土) - 5.13(日)

【会場】佐賀県立美術館(3-4号展示室)、佐賀県立博物館
【料金】一般・大学生500円(400円)
『はじまりはここから—岡田三郎助と女性画家たち』展とのセット券
一般・大学生600円(500円)
高校生以下及び障害者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料
※()内は割引料金

佐賀県立博物館 佐賀県立美術館
SAGA PREFECTURAL MUSEUM SAGA PREFECTURAL ART MUSEUM

【開館時間】9時30分~18時 【休館日】会期中休館日はありません http://saga-museum.jp/museum/ 佐賀県立美術館 検索

※()内は前売り、20名以上の団体、博・美メール会員、サガン鳥籠ドリームバス会員、Begin会員等の割引料金
※次の施設のチケット半券、もしくはフリーパスの提示により、割引料金でご観覧いただけます。 幕末維新記念館、リアル弘道館、東照宮、徳川美術館、大隈重信記念館、佐野常民記念館、佐賀ハルーンミュージアム
【お問い合わせ】佐賀県立博物館・美術館 TEL0952-24-3947 【主催】佐賀県立博物館・美術館、佐賀新聞社、サガテレビ
【協賛】佐賀県教育委員会、国立大学法人佐賀大学、一般社団法人共同通信社、(株)時事通信社佐賀支局、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、NHK佐賀放送局、NBCラジオ佐賀、エフエム佐賀、FBS福岡放送、九州朝日放送、RKB毎日放送、TNCテレビ西日本、TVQ九州放送

肥前さが幕末維新博特別展

美・技のSAGA

Art and Technique

佐賀県立博物館、佐賀県立美術館 3・4号展示室

2018. 3.17(土) - 5.13(日)

「美」「技」の
テーマで紹介



染付蒔絵芙蓉芦雁文大花瓶
1875~1879(明治8~12)年頃 有田ポーセリンパーク蔵



林檎拾い 久米桂一郎
1891(明治24)年 久米美術館蔵



マンドリンを持つ少女 百武兼行
1879(明治12)年 公益財団法人鍋島報効会蔵
佐賀県重要文化財



紅被せガラス花壇文耳付花瓶
精業合資会社・青木熊吉
1910(明治43)年頃



海辺裸婦 岡田三郎助
1914(大正3)年 親和アートギャラリー蔵



ニューギニア沖東方敵機動部隊強襲
御厨純一
1942(昭和17)年 東京国立近代美術館(無期限貸与作品)



木版摺更紗着物敷果文 鈴木滋人 1999(平成11)年 佐賀県立美術館蔵



染付山水図大皿 梶原菊三郎
1879(明治12)年 東京国立博物館蔵



支那絹の前 岡田三郎助
1920(大正9)年 高島屋史料館蔵

アトリエ移設記念展

岡田三郎助と女性画家たち

佐賀県立美術館 2号展示室

2018. 4.1(日) - 5.20(日)

近代洋画の巨匠として知られる岡田三郎助は、女性の美術教育にも尽くしました。本展では岡田三郎助の作品とともに、若き頃岡田に師事した女性画家たちの作品を展示します。また東京渋谷区恵比須に現存していた岡田三郎助のアトリエと女子洋画研究所を移築。佐賀に生まれ、明治から昭和初期の洋画壇において重要な存在であった岡田三郎助の息づかいを感じることができる展覧会です。



アトリエの岡田三郎助 昭和7、8年頃



朝 有馬三斗技
1957(昭和32)年 佐賀県立美術館蔵



踊る 深沢紅子
1981(昭和56)年 練馬区立美術館蔵



白衣の少女 岡田三郎助
1901(明治34)年



花(ヴェロンにて) 三岸節子
1988(昭和63)年 一宮市三岸節子記念美術館蔵
©MIGISHI



支那絹の前 岡田三郎助
1920(大正9)年 高島屋史料館蔵



若き日の三岸節子像 岡田三郎助
1923(大正12)年



三つのポーズ 森田元子
1957(昭和32)年 女子美術大学美術館蔵



母の日 いわさきちひろ
1972(昭和47)年 ちひろ美術館蔵

佐賀生まれの巨匠が
女性たちを美に導いた

【関連イベント】 イベントの詳細は佐賀県立博物館・美術館ホームページでご確認ください。

◎温故維新展記念講演

日時: 4月21日(土) 13:30~15:00(開場13:00)
会場: 美術館ホール
講師: 山下裕二(明治学院大学教授)
演題: 佐賀の美術を応援する
— 鍋島焼から岡田三郎助、池田学まで —
料金等: 無料
(事前申込み不要。ただし、展覧会チケット半券が必要です)

◎映画「あるアトリエの100年」特別上映

東京の岡田三郎助アトリエを舞台とした貴重なドキュメンタリー映画(110分)
日時: 5月3日(木) 13:30~(開場13:00)
会場: 美術館ホール
料金等: 無料
(事前申込み不要。ただし、展覧会チケット半券が必要です)

◎佐賀ゆかりの女性作家によるアーティスト インレジデンス(公開制作)

会期: 4月10日(水)~5月20日(日) 10:00~17:00
会場: 岡田三郎助アトリエ(アトリエ)
作家: 仁戸田典子(佐賀大学大学院修了、洋画家)
鶴友那(佐賀大学大学院修了、洋画家)
料金等: 無料(事前申込み不要)
※作家の滞在は不定期(週2~3日)です。
詳しくはホームページをご覧ください。

◎佐賀ゆかりの女性作家によるアートマーケット

日時: (後日ホームページでお知らせします)
会場: 岡田三郎助アトリエ(女子洋画研究所)

◎あらかしコンサート

①日時: 3月25日(日) 14:00~(開場13:30)
会場: 美術館ホール
「シャンソン ーパリのあこがれwith ストリングストリオ」(出演: 島内陽瑚ほか)
②日時: 5月12日(土) 14:00~(開場13:30)
会場: 美術館ホール
(内容はホームページでお知らせします)
料金等: いずれも無料(事前申込み不要)

◎学芸員によるギャラリートーク

料金等: 無料
(事前申込み不要。ただし、展覧会場入場のためチケットが必要です)
温故維新展
日時: 3月24日*、4月7日*、4月14日*、28日*(いずれも土曜日) 14:00~
集合場所: 博物館1Fエントランス
*は「技」(博物館3号展示室)、☆は「美」(美術館3・4号展示室)の解説となります。
はじまりはここから展、岡田三郎助アトリエ
日時: 4月8日、4月15日、4月22日、5月20日(いずれも日曜日) 14:00~
会場(集合場所): 美術館2号展示室

http://saga-museum.jp/museum/ 佐賀県立美術館 検索



▼交通アクセス

○JR佐賀駅から市営バスで「博物館前」もしくは「サガテレビ前」下車徒歩すぐ
○JR佐賀駅から市営「昭和・祐徳」バスで「東下り」下車徒歩10分
○佐賀大和ICから車で約20分
※駐車場には限りがありますので、公共交通機関のご利用をおすすめします。

